

西門川小学校



平成22年度入学式

西門川小学校は、西門川中学校と共に、小規模特認校制度により、平成19年度から、一定の条件を満たす児童が入学・転入学できるようになりました。本年度からスクールバスが運行されるようになり、小学校には4年生児童1名、3年生児童4名、2年生児童4名、新入学児童4名の計13名がこの制度を利用し、現在元気に登校しています。西門川小学校は、自然環境に満たされ、児童一人一人を大切にしている学校です。西門川小学校では、たくさんの体験的な学校行事を、1年生から6年間体験することができます。西門川小学校では、全校児童を小・中学校の全職員で大切に育てていきます。

西門川小学校を見学にご利用ください。

ホームページも開いています。

学校の電話番号 (0982) 64-1004

学校のメールアドレス

1623ea@miyazaki-c.ed.jp

学校のホームページアドレス

<http://miyazaki-c.ed.jp/nishikadogawa-e/>



平成19年度に始まった小規模特認校制度によって、校区外より通学する児童数は19年度2名、20年度7名、21年度8名、そして本年度13名と着実に増加してきました。豊かな自然と人情に溢れた西門川で、我が子に学校生活を送らせたいという保護者の方々の熱意が私たち職員に十分伝わってまいります。そのことから、きめ細かな学習指導に努め、一人一人の学力を十分伸ばす取組を続けてきました。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様に満足していただけるような学校づくりに邁進いたします。



全校児童32名、明るく元気な子どもたちの大きな声が響く学校です。3年生以上は複式学級ですが、主要教科は単学年で指導しています。

校長 岡村夫佐(おかむらふさ)

※ 重点実践事項のアンダーライン部分は平成22年度新しく取り組む内容です。

保護者 ← 西門川小学校の教育 → 地域

学校の教育目標
創造性に富み、情操豊かで、心身ともにたくましく生きる子どもの育成

平成22年度のスローガン
○大きな声であいさつ、返事のできる子どもを育てます。
○一人一人の学力を伸ばし、自分の考えを発表できる子どもを育てます。

めざす児童像(西門川小)

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・がんばり抜く子
- ・進んで働く子

めざす生徒像(西門川中)

- ・自ら学びよく考える生徒
- ・人の立場を理解し、協力する生徒
- ・健康でねばり強く自ら鍛え抜く生徒
- ・勤労を尊び、地域に奉仕する生徒

6年間の学び

めざす教師像

- ・使命感に燃え、研修に励む教師
- ・組織体の一員として他と協調し自分の責任を全うする教師
- ・常に自己に厳しく、教育の道を教育実践の中に求める教師
- ・教育目標の具現化に努め、子ども一人一人を力いっぱい生かす教師

めざす学校像

- ・創意みなぎる学校
- ・美しく静かな学校
- ・明るく生き生きとした学校
- ・伝統を尊び秩序ある学校

めざす保護者像

- ・責任を果たす保護者
- ・子どもの将来を考える保護者
- ・学び続ける保護者
- ・学校教育を理解し、共に歩む保護者

重点実践事項

学力と体力の向上 (知・体)

- ◎一人一人の学力の向上
 - ・一人一人の学力分析と児童理解
 - すこやか委員会での対応策検討
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
 - 授業始め・終わりのドリルで確認
 - ・思考力・判断力・表現力等の育成
 - 授業、かわちタイム、校内研究
 - ・確かな学力を確立するために必要な時間の確保 →家庭学習との連携
- ◎授業力向上をめざす研修の充実
 - ・年2回の授業参観週間の実施
 - ・年間一人1回以上の研究授業実施
- ◎CRTで全国平均との差が前年度より1点アップする。
 - 複式指導時間の削減
- ◎体力向上プランの実施
 - ・体力テストの実施(年3回)
 - ・全児童の瞬発力をUP
 - ・3学期の体力テストで全国平均を70%の児童が上回る。

豊かな心の育成 (徳)

- ◎食育の推進
 - ・生活習慣の改善
 - ・栄養教諭との授業研究
- ◎教育相談の充実
 - ・教育相談の時間確保
 - ・「すこやか委員会」の充実
- ◎23が60(ろくまる)運動の推進
 - ・読書カードの活用
 - ・親子読書時間の増加
 - ・学校図書館の充実と利用
- 人権教育の推進
 - ・いじめや差別を許さない態度の育成
 - ・研究授業の実施
- 道徳教育の充実
 - ・徳の到達目標の達成
 - ・研究授業の実施
- 栽培活動の充実

西門川ならではの教育

- ◎小中連携の充実
 - ・中学校教諭の兼務による授業(国・理)
 - ・中学校教諭がゲストティーチャー
 - ・合同行事における連携強化
 - ・小中の学習内容系統を意識した授業の構築
 - ・合同職員研修の実施
- ◎地域人材や地域素材の活用
 - ・年3回のふれあい活動の充実
 - ・地域運営型行事の開催
 - ・授業での地域素材の活用
- 学校の情報公開
 - ・年間30号の学校便りを発行
 - ・ホームページを月2回更新
- あいさつ運動の推進
 - ・あいさつ週間の設定

学校評価を基にした学校力の向上と開かれた学校づくり

自己評価

- ・教育課程評価(教師、保護者、地域)
- ・授業評価(管理職、児童、保護者)

学校関係者評価

西門川の教育を語る会

21年度

- ◆子ども一人一人が分かるように指導して欲しい。
- ◆生活習慣、健康を考えた食事ができているか心配。
- ◆地域住民が気軽に来校しにくい。

対策

22年度

- ◇一人一人の学力を伸ばす。
- ◇食育の指導を中心に生活習慣の確立をめざす。
- ◇地域との交流を工夫し、来校しやすい学校にする。